日本リハビリテーション病院・施設協会

JAPAN ASSOCIATION OF REHABILITATION HOSPITAL AND INSTITUTION

News Letter No.77

2026.03.01

発行者：一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会事務局

協会役員コラム

一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会

理事　内山 量史

『高次脳機能障害支援法の展望』

昨年１２月、高次脳機能障害支援法が成立しました。本法は、高次脳機能障害のある方が地域で安心して生活し、自立と社会参加を実現できる社会の構築を目的としています。これまで制度上の位置づけが必ずしも明確でなかった本障害について、基本理念を示し、国および自治体の責務を明確化した点に大きな意義があります。また、相談支援体制の整備や関係機関の連携促進も盛り込まれ、医療・福祉・就労支援を含めた切れ目のない支援の推進が期待されます。さらに、都道府県に設置される高次脳機能障害者支援地域協議会において、高次脳機能障害に従事する医師やリハビリテーション専門職が参画し、各都道府県の実情に即した実効性の高い施策が進められることを期待しています。外見からは分かりにくい特性ゆえに理解不足や支援の遅れが課題となってきましたが、本法の施行を契機に、地域全体で支える体制づくりが一層進むことを願っております。

研修会のお知らせ

●【オンデマンド配信】
運動器を包括的に語る－リハビリテーション・ケア合同研究大会2025大阪 ポストコングレス－

【配信期間】2026 年 4 月 13 日（月）～ 26 日（日）

【内　容】運動器のケアはかつての「整形外科の術後リハ」から大きく姿を変えています。高齢化社会の真っ只中で「認知機能を含めたカラダ全体」から「生活の質」までに関わることが次々と報告され、広く包括的にとりあげるべき題材と認識されるようになりました。昨秋、成功裏に終えたリハ・ケア合同研究大会 2025 大阪でも多くの演題、議論の中でそれを実感された方が多いと思います。今回はポストコングレスの形で 3 名の講師に運動器の包括的ケアについてお話し頂く機会を設けました。職種・職域を問わずに納得できて、新しい知見を得る内容となっています。

【講　師】吉岡 豊城 氏（大成整形外科、理学療法士）
西村 貴宏 氏（医療法 42 条施設 Eudynamicsヴィゴラス、健康運動指導士）
島田 永和 氏（はぁとふるグループ 代表、整形外科医）

【対　象】当協会会員施設の方

【締切日】2026 年 4 月 17 日（金）

※ 各研修会の詳細は、協会ホームページの［研修会］https://www.rehakyoh.jp/workshop をご覧ください。

TOPICS

地域リハ塾 塾生養成講座４期生
『地域リハ塾2025』が無事修了しました。

昨年８月に開講した『地域リハ塾 塾生養成講座４期生』も、今期最終回となる第５回目が、霞ヶ関南病院（埼玉県川越市）を会場に２月 14 日（土）～ 15（日）の２日間で開催され、塾生 37 名全員無事修了を迎えることができました。
当日は、斉藤 正身 塾長（当協会会長）からのレジェンド講義、施設見学や今期全５回の振り返りを行い、最後には、斉藤塾長から一人ひとりに修了証が授与されました。新たな塾生たちの今後の活躍にご期待ください。

地域リハ塾2025 ①
（東京）

地域リハ塾2025 ②
（福岡）

地域リハ塾2025 ③
（兵庫）

地域リハ塾2025 ④
（長崎）

一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会 LINE 公式アカウント
日本リハビリテーション病院・施設協会
LINE 公式アカウント
Facebookもチェック
https://www.facebook.com/rehakyo/